

【人権相談日】

8月18日(月) 9月16日(火)

13:30～15:00

館職員が対応します。
お気軽にご来館ください。

【職業・生活等各種相談日】

8月20日(水) 9月17日(水)

13:30～15:30

近藤相談員が対応します。諸事情で開催日を変更する場合がありますので、お問合せください。

壬生川小2年生が校区探検にやって来ました！

6月18日(水)に壬生川小学校2年生が、まちたんけんで北星会館に来館しました。学習のねらいは、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関りを見付ける等々です。

あらかじめ10項目の質問を準備してくれていたの、館長が答えていきました。北星会館はどんなことをしていますか、どんな仕事をしていますか、どんな部屋がありますか、お休みやあいている時間はいつですか、などでした。北星会館は、人権をまもる地域の学習センターで地域のコミュニティセンターでもあること、相談活動などもしていることを話しました。準備していた質問以外にも、さらに多くの質問があり、児童たちは長時間にわたってメモをしっかりと、とても熱心な学習への取組でした。

最後に10月18日(土)に実施予定の北星会館まつりのお知らせをさせていただきました。



認知症サポーター養成講座受講

6月10日(火)笑楽会の皆さんが認知症サポーター 養成講座講師(キャラバン・メイト)で活動している日野志織さんの「認知症について学ぼう」を受講しました。認知症はライフスタイルを改善することで発症のリスクを減らすことは可能だそうです。そのためには脳の活性化を図ることが大事だと話されました。

脳の活性化の4原則は「快刺激で笑顔に」「コミュニケーションで安心」「役割、日課をもつ」「ほめる、ほめられる」です。

認知症の特性や症状の特徴を正しく理解することで、認知症への恐れや偏見、差別をなくすることができます。そして、ちょっとした工夫や気づきがあれば、認知症の人や家族を応援できます。地域の中で安心して暮らせる社会にしましょう。



北星会館だより



2025年

令和7年 8月号

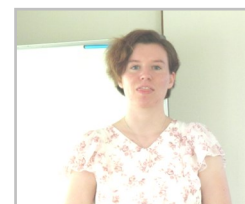
(No.157)

住所 〒799-1341 西条市壬生川682

電話・FAX 0898-64-0321

E-mail hokuseikaikan@saijo-city.jp

☆第2回 優・友・楽習会の開催 『 イングランド VS ジャパン 』



7月4日(金)丹原高等学校の英語指導助手 クロイ スピアリング先生をお迎えして開催しました。クロイ先生の出身はイングランドの南部で、日本に来て2年だそうです。私たちがイギリスと呼んでいる国は、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドという4つの国の集まりです。今回はそのイングランドと日本を様々な点から比較して教えていただきました。

はじめに、イングランドにあるバッキンガム宮殿やビッグベンなどを写真で紹介していただき、人口や降雨量、広さについてクイズ形式で学びました。人口や広さも日本の半分より少ないとのこと。

天気は、日本よりずいぶんと寒く、雨の日はイングランドの方が多そうですが、年間の降雨量は日本の方が多いそうです。夏でも涼しく、暑い日も限られているようです。ほとんどの家にはエアコンがありませんが、最近の地球温暖化の影響を受けて厳しい暑さを感じる日も増えてきているそうです。

また、年間で一番盛大な時期はクリスマスの時期です。学校も2週間ほどはお休みになり、クリスマスの様子も写真で見せていただきました。ほとんどの町でバントマイムというショーが上演されます。子ども向けではあるけれど、家族でも楽しめる内容だそうです。新年となればパーティーをしたり、ドライブに出かけたりと、日本とはずいぶん過ごし方が違うようです。

続いて料理について、日本では複数の食器を使うことが多いですが、イングランドでは1枚の大きなお皿に肉や野菜やポテトをよそっているとのこと。外国の料理は中国やインド、イタリアの料理が一般的とのことでした。日本食も少しあって、主にお寿司やラーメンなどです。いろいろな外食の値段も比較していただき、イングランドでの外食は日本よりずいぶん高いそうです。

賃金や家賃、生活費や食費の比較では、いずれもイングランドの方がずいぶん高かったです。

最後に質問コーナーの時間もありません。今回の講座は、お話しも資料画面もすべて英語でした。



久しぶりに目の前で生の英語を聴くことができ、学生の気分になりました。

現在は外国の方との交流も多くなってきており、私たちが外国の文化について理解を深めていくことは、大切であることを改めて考えさせられました。クロイ先生どうもありがとうございました。



次回 優・友・楽習会のご案内

第3回 日時 8月1日(金) 13:30～

演題 「十河信二と西条の偉人たち」

講師 伊藤 敏 昭 (西条市教育委員会社会教育課)



第4回 日時 9月5日(金) 13:30～

演題 「音楽と言葉の力で 心豊かなひとときを」

講師 武田 詩 乃 (音楽療法士) 真鍋 明 紀 子 (朗読)



大久野島毒ガス資料館等研修



6月19日(木)健康体操教室生が大久野島毒ガス資料館、大山祇神社を訪れ、人権に関することや歴史を学び、教室生同士の交流をはかりました。大久野島毒ガス資料館は戦争の兵器として使用された毒ガスに関する資料館です。昭和4年から昭和20年終戦まで、秘密裏に日本陸軍によって毒ガスが製造されていました。島内には貯蔵庫跡や、砲台跡、発電場跡などが残っています。

【大久野島毒ガス資料館の感想】

- 平和に見える島の知らなかった歴史を、ビデオと展示資料で見聞きすることができ良い勉強になりました。
- 日本が毒ガス製造に力を入れていたことに驚きました。また、毒ガスの悲惨さがよくわかりました。
- 過去に地図から消された島として、当時の島民や働く人々のことを思うと心が痛んだ。
- 毒ガス製造工程で使われた陶器の装置や防毒マスク、衣服などが展示されていて記憶に残った。
- 戦後80年、戦争の被害が注目されているが、加害の面もあったことを知った。平和の大切さを感じた。



大久野島毒ガス資料館前にて

【大山祇神社の感想】

- 広い境内の緑に心が洗われた。長年、人々に力を与えてくれていたんだと感じた。
- 樹齢2,600年ほどの御神木を見上げたら、人間の寿命は短く人の悩みなど「たいしたことではない」と語っているように見えた。



大山祇神社 御神木

☆大久野島では棲息するウサギたちのお出迎えがありました。役員の方が準備してくれていた新鮮な人参と葉っぱを美味しそうにたくさん食べてくれました。とても暑い日の研修でしたが、かわいい様子に癒しの時間となりました。



☆第1回北星会館協力委員会開催

5月22日(木)今年度1回目の協力委員会を教室の代表者自治会や愛護班役員、学校、行政関係者に参加していただき開催しました。新委員長が推薦、承認されました。

そして、昨年度事業の取り組み報告と本年度の事業計画について協議しました。最後に館長から6月から始まる優・友・楽習会への参加と10月のふれあいまつりへの協力をお願いして閉会しました。



☆第1回 優・友・楽習会の開催 『地域の防犯、家庭で防犯』

6月6日(金)西条西警察署生活安全課の酒井真由美さんをお迎えして、今年度初めの優・友・楽習会を開催しました。お話は「闇バイトに絡む家庭での防犯対策」と「特殊詐欺の被害防止」についてでした。



闇バイトによる強盗事案は、昨年より話題になり近隣の県でも発生しています。闇バイトに引き込まれた人の警察への保護依頼も全国で120件を超え、10代や20代の若者が多くを占めています。闇バイトの勧誘は、「ホワイト案件」、「高額案件」と言葉巧みに勧誘し、個人情報聞き取ったうえで脅迫し、犯行グループに引き込んでいます。警察では、犯行に加担させない取り組みと犯人の摘発に全力を尽くしています。

防犯等の対策には、「光」「音」「時間」「目」の防犯4原則が有効です。夜間の防犯ライト等、侵入を検知し音を出すブザーや敷石、侵入に時間をかけさせるサッシストッパー、2重ロックや窓ガラスの防犯シート、地域の人の目や防犯カメラ等です。身近にある百円ショップやホームセンターで販売している商品の実物をいくつか紹介していただきました。

次は特殊詐欺やSNSによる投資・ロマンス詐欺についてでした。特殊詐欺の被害額は令和6年中県内で2億円を超え、SNSによる詐欺は10億円を超えるものとなっています。投資詐欺では1件あたりの被害金額が大きくなっています。最近は警察をかたる詐欺も多く報道されていますが、かかってきた電話に対応をするのではなく、警察の所属と担当を聞いたうえで自分で調べた電話番号に折り返すという対応が被害を未然に防ぐことになります。昔は高齢者の方の被害が多かったですが、今は若い方の被害も激増しています。

最後に、特殊詐欺の電話の発信元が国際電話であることが多く、国際電話の利用がない場合には国際電話の利用休止がとても有効になるということでした。(申込必要)

参加者も多くが不審な電話の経験があり、「だまされやすさチェック10の質問」で該当数をカウントしました。すると、皆さんだまされやすいタイプの人ばかりでした。自分は大丈夫ではなく、防犯意識を自分のこととして考え高めてほしいとお話でした。



防犯は家庭と地域の取組が相まって

安全な地域を作り出す！

防犯意識を家庭や地域で広めよう！

